事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和02年07月03日（金）

事務事業	地域産業活性化事業	担当課	産業ブランド推進室	担当係	産業ブランド推進室	管理番号	3739
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	200003 活力とにぎわいにあふれるまち（産業振興）	根拠法令個別計画等					
中項目	200002 雇用とにぎわいを生み出すまちづくり						
小項目	200002 観光資源の整備と活用						

事業概要	花園ＩＣ拠点整備に伴い、花園エリアを核とした回遊型観光事業の推進により市内交流人口や市内での滞留時間の増加を図り、地域産業全体の活性化を目指す。
目的 ※何のために	花園ＩＣ拠点からの市内回遊を促進するため
対象 ※誰・何を対象に	市内生産者、事業者等
手段 ※どのように	市の強みである野菜を活用した商品や体験コンテンツを造成し
成果 ※何を求めるか	市内全域を野菜のテーマパーク化し、市内交流人口の増加を図る。
執行体制	□ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0

本事業の主な業務	
・ 野菜を楽しめるまちづくり戦略に関する業務	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			・ふるさと納税電子感謝券の導入 ・野菜を楽しめるまちづくり戦略の策定	・野菜を楽しめるまちづくり戦略に基づく事業実施	・ベジタブルテーマパークフカヤの推進		
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0	
	決算額	0	0	0	0	0	
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0	
人件費	従事職員数（人）	0.00	1.50	1.40	1.00	1.00	
	人件費相当試算 ※1	0	11,673,000	11,005,400	8,148,000	8,148,000	
		0	0	0	0	0	
（総事業費試算）		0	11,673,000	11,005,400	8,148,000	8,148,000	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		目標値 / 実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
□	成果指標１	ＶＴＰ生産者会員数（生産者、加工業者等）	目標値		件	0.00	0.00	0.00	30.00	40.00	50.00	□
			実績値			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			会員募集初年度の目標を３０件とし、その後１０件ずつ増やす。							
		実績による										
□	成果指標２	ＶＴＰ事業者会員数（飲食店、市外事業者等）	目標値		件	0.00	0.00	0.00	20.00	25.00	30.00	□
			実績値			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			会員募集初年度の目標を２０件とし、その後５件ずつ増やす。							
		実績による										
■	成果指標３	商品の掘り起こし、開発数（ふるさと納税お礼品）	目標値		件	0.00	0.00	18.00	23.00	28.00	33.00	□
			実績値			0.00	13.00	19.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			農畜産物及び加工品のお礼品新規開発数を平成３０年度実績を元に毎年５件ずつ増やす。							
		実績による										
□	成果指標４	観光回遊コースの開発数（ＶＴＰサイトへの掲載）	目標値		件	0.00	0.00	0.00	10.00	15.00	20.00	□
			実績値			0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			事業を本格始動する令和２年度の開発数を１０件とし、その後５件ずつ増やす。							
		実績による										
□	成果指標５	ＶＴＰサイト閲覧数セッション数	目標値			0.00	0.00	0.00	15,134.00	18,160.00	21,792.00	□
			実績値			0.00	0.00	6,309.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			開設初年度の平成３１年度の実績（７ヶ月分）を元に毎年２０％の増加を目指す。							
□			目標値			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠										

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動（意図した活動を行っているか）	-	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明
成果（意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 商品の掘り起こし、開発数については、当初の目標を上回って達成することができた。
効率性（効率的に事務を行っているか）	-	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	産業ブランド推進室　主査　田中麗奈

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度改善・改革案	テーマパーク化には各観光コンテンツの充実化が必須である。今後は市内の生産者や事業者とともに、野菜を楽しむことができる魅力的なコンテンツをセミナー等を通し造成していく。また、外部の観光メディアとタイアップし、観光コンテンツを発信できるような商業ベースのツアー、イベントを実施していく。
達成状況及びその効果	オープニングイベントや産業祭でのミニベジタブルテーマパークフカヤの開催を通じて、生産者や事業者と体験や商品などの観光コンテンツの開発を行うことができた。一方で、商業ベースのツアーについては、県物産観光協会との連携によるツアーを実施することができた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	地域産業活性化事業	担当課	産業ブランド推進室	担当係	産業ブランド推進室	管理番号	3739

- □ ① 現状のまま継続
- ■ ② 見直して継続 →
  - □ 委託化等の検討
  - ■ 成果向上のための改善
  - □ 効率化のための改善
  - □ 事業規模の縮小
  - □ 他の事務事業と統合
- □ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
- □ ④ 目的達成による終了
- □ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

市内回遊を促進するための観光コンテンツ造成へ向けて、市内生産者や事業者との連携によるイベントやツアーを実施することができた。引き続き観光コンテンツの造成と情報発信を進めていく必要がある一方で、これまでの大規模人数での実施が難しい状況であることから、新しい生活様式に対応した観光コンテンツの造成および発信が求められる。

評価者	産業ブランド推進室長　柴野　晃彦

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

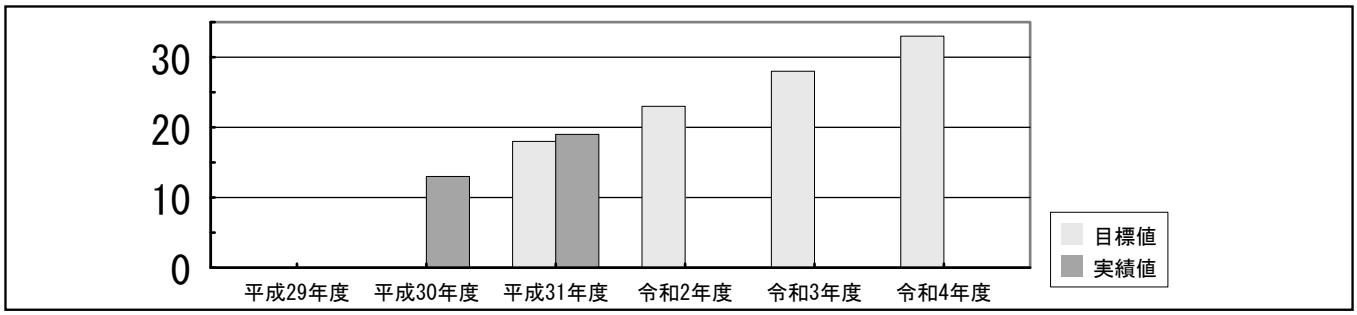
改善・改革案	ＶＴＰ会員募集を通じて市内生産者や事業者に対して取組自体の認知を高めながら、生産者と事業者が連携する企画やイベントを実施することで全体の連携を深めていく。 また、来訪を促す取組としては、従来の大型バスツアーや大規模イベントの実施ではなく、個人旅行や小規模での体験イベントを想定した観光コンテンツを造成し、公式サイトを通じて発信していく。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

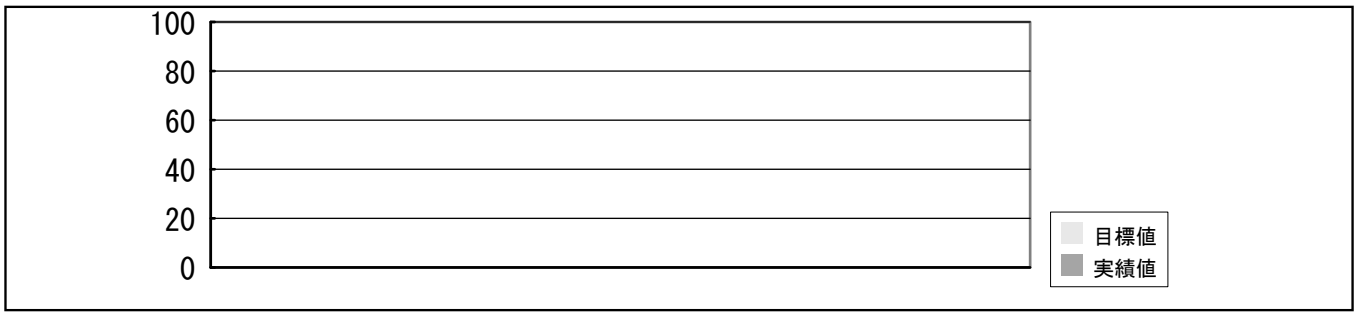
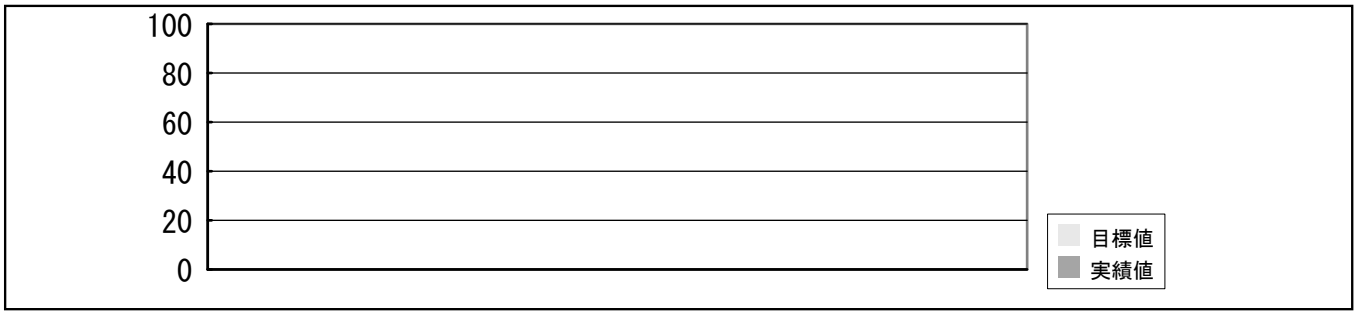
今後の課題	新型コロナの感染状況が不透明ではあるが、現状だからこそできる観光コンテンツの造成や情報発信の手法を模索し、大河ドラマ館や深谷テラスファーム、アウトレットのオープンに合わせて来訪者を回遊させるための準備を進めていく。

９．評価指標グラフ

区分	成果指標３	指標名	商品の掘り起こし、開発数（ふるさと納税お礼品）



区分		指標名	



区分		指標名